

GALLERY SEKI RYU

ギャラリー 石 榴

榎本 和子 Kazuko Enomoto

- 1930年 兵庫県生まれ
- 1949年 美術文化協会に入選
- 1951年 美術文化協会会員となる。この年、会友・会員の懇親会で阿部展也を知り、のちに瀧口修造を紹介される
- 1953年 瀧口の推薦で榎本和子個展（タケミヤ画廊）を開催
- 1955年 「国際水彩画ビエンナーレ」（ニューヨーク、ブルックリン美術館）に出品、2点がブルックリン美術館買上げとなる
- 1957年 養清堂画廊で開催された親友、福島秀子との二人展にて、初めて合板に油彩でモノプリントした作品を発表
女流版画協会に参加
第2回女流版画会展に油彩水彩混合のモノプリント作品を出品
- 1958年 個展（養清堂画廊）で和紙に油彩のモノプリント作品出品
第2回シェル美術賞（神奈川県立近代美術館）で佳作賞
- 1960年 第2回みずゑ賞選抜作家展（松屋・銀座）出品
- 1960~61年 ロックフェラー財団の支援により来日したアーサー・フローリーの石版画工房で指導を受ける。
- 1964年 東野芳明と結婚し制作から遠ざかるが、1970年に離婚
- 1970年代 デューラーの多面体に着想した立体作品、数理パズルを発表するようになる
- 1979年 論文「デューラーの多面体に憑かれて」発表。「黄金比の八面体」をクリスタルガラス塊で作り、レーザー光で透過する実験を行う
- 1991年 病に倒れた旧友福島秀子の作品整理等、個展開催（佐谷画廊、1997年）を支える
- 1997年 自身も「榎本和子展：1987-1989年」（佐谷画廊）でアクリルによる絵画を発表
- 2019年 逝去

■ 主な個展

- 1998年『『無限』のヴィジョン・8面体A. デューラー<メレンコリア>』佐谷画廊、東京
1997年「榎本和子展・1987-89」佐谷画廊、東京
1958年「榎本和子個展」養清堂画廊、東京
1957年「榎本和子・福島秀子二人展」養清堂画廊、東京
1955年「榎本和子個展」美松書房画廊、東京
1954年「榎本和子個展」朝日ギャラリー、東京
1953年「榎本和子個展」タケミヤ画廊、東京（1954年にも開催）

■ 主なグループ展

- 2025-2026年「アンチ・アクション 彼女たち、それぞれの応答と挑戦」豊田市美術館、愛知
／東京国立近代美術館、東京
2017年「芥川紗織と『前衛』の女性」ギャラリー石榴、東京／長野
2006年「詩人の眼・大岡信コレクション」三鷹市美術ギャラリー、東京
2005年「前衛の女性 1950-1975 展」栃木県立美術館、栃木
2000年「作品を読むく足で読む、耳で読む、画面で読む」板橋区立美術館、東京
1999年「脱・『現代美術教養論』」板橋区立美術館、東京
1998年「草月とその時代 1945-1970」芦屋市立美術博物館、兵庫
1996年「1953年ライトアップー新しい戦後美術像が見えてきた」目黒区美術館、東京
1992年「新収蔵作品展」板橋区立美術館、東京
1990年「東京アヴァンギャルドの森・1946-1956 展」板橋区立美術館、東京
1985年「子どもと親の美術館’ 85ーリズムをみるー」北海道立近代美術館、北海道
1982年「第1回現代芸術祭ー滝口修造と戦後美術」富山県立近代美術館、富山
1976年「’ 76 国際コンピュータ・アート展」東京銀座ソニービル8階ホール、東京
1973年「ー20年の100人展ー画廊創立20周年記念」養清堂画廊、東京
1960年「第2回みづゑ賞選抜作家展」銀座松屋、東京
1958年「第2回シェル美術賞展」神奈川県立近代美術館、神奈川
1957年「女流版画会展」養清堂画廊、東京
1956年「第8回京都美術懇話会」京都大丸、京都
1955年「ブルックリン国際水彩画展・日本出品国内展示会」ブリジストン美術館、東京
「第18回国際水彩画ビエンナーレ」ブルックリン美術館、ニューヨーク
「第2回朝日新人展」京都高島屋、京都（1956年にも出品）
1950年「第4回美術団体連合展」東京都美術館、東京
1949年「第9回美術文化展」東京都美術館、東京（1950、1951にも出品）

■ コレクション 50音順

板橋区立美術館、東京

東京国立近代美術館、東京